

山形県スポーツ少年団

大空に翔る

平成27年2月発行
No.30

発行
公益財団法人 山形県体育協会
山形県スポーツ少年団
山形市松山2-11-30
☎(023)625-5750
<http://www.yamagataken-taikyo.or.jp/>
印刷 (株)大風印刷

地区協議会だより



第41回日独スポーツ少年団同時交流受入事業(村山地区協議会)



最上地区スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会(最上地区協議会)



置賜地区スポーツ少年団リーダー研修会(置賜地区協議会)



第50回山形県スポーツ少年大会
兼平成26年度ジュニア・リーダースクール(庄内地区協議会)

早いもので記念式典から一年が過ぎ、平成二十四年度から始まった日本スポーツ少年団第九次育成五カ年計画も三年経過しました。
今年度もいろいろな研修会に参加しましたが、今一番の課題は「団員の減少・少子化のなか団員をどう増やすか」ということではないかと思えます。そのため、「スポーツ少年団の更なる魅力づくり」に取り組んでいかねばなりません。研修会への積極的な参加をいただきながら、「より多くの子どもたちにスポーツの喜びを」「スポーツを通じて心と体を育てる」「地域づくりに貢献する」という三つの理念のもと、「生き抜く力」「運動遊び」「多世代交流」「多様なプログラムの提供」などをキーワードに、みんなで考え、みんなで取り組んでいきたいと思います。



山形県スポーツ少年団
本部長 村田 久忠

更なる魅力づくりを

山形県
スポーツ少年団
50周年記念

ドイツスポーツクラブ等視察研修 ドイツのスポーツ事情について

山形県スポーツ少年団 副本部長 井上道雄

六月十日から十九日まで十日間の視察研修は、とても楽しい有意義な研修でした。ドイツの二つのスポーツクラブ訪問について概要を報告します。

①トリヤー市

「ボストスポーツクラブ」訪問

クラブ会員数三、一〇〇名、実技指導者一〇〇名で、三〇の部(合気道・ホッケー・テコンドー・セーリング・エアロビック・ドッグスポーツ・アメリカンフットボール・バドミントン・サッカー・トライアスロン等)。三〇の部には部理事会、全クラブの執行部は会長・副会長、八名の理事で構成。事務局には専従職員の事務局長、パート職員と実習生、管理人とミニジョブ職員。施設は八スポーツ施設(森の競技場、グライダー場、水上スキー施設、乗馬場、ドッグスポーツ場、フィットネススタジオ、トニ・コーラス体育館、射撃場)、クラブハウス四ヶ所、委託レストラン二軒。

私たちは体育館を実際に視察した。バスケットボールコート四面の広さがあり、観客数六、〇〇〇人を収容できる大きな体育館だった。イベント、コンサ



ト、スポーツ大会、学校体育の授業(貸与)等、多様な活動に使用され、近くには大きな駐車場があった。

クラブのアイデア オロギーとして、民間(営利)の余暇・スポーツ企業が会員数を伸ばしている時であり、競争力を持つため、サービス提供者として、プロフェッショナルなサービスと市民のニーズに近いものを提供しているという。

クラブ事務局では、会員管理(入退会、変更、会費徴収)、クラブプログラム、教室、会費等のアドバイス、郵便・連絡業務の処理やスポーツ関連団体、役所、連携パートナー、開催者、企業との協力や財政・資金の調達等の業務を行っている。また、広報活動やプレス活動、マーケティング、スポーツ各部・スポンサーリングとの連携、そして人事関係(休暇の計画サラリー等)や苦情の処理、定款、登録や保険事務と多岐に及んでいる。クラブの予算は二〇一三年一五〇万ユーロ(一ユーロ一四〇円として二一、〇〇〇万円)。

この後、地域アカデミーの事務局長から話を伺った。この地域アカデミーは「EURO SPORT POOL」で、ルクセンブルグ、ベルギー、フランスの一部



ドイツの一部の隣接地域でスポーツ活動を行っている組織のことである。ユーロ圏であり、バスポートも必要がないヨーロッパならではの結びつきである。会長が州知事で、その州が経費を持つのだという。会長は廻り番とのことである。

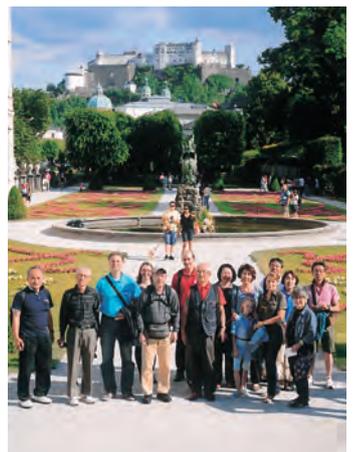
②ニュルンベルグSV Sudスポーツ

(一八七三年設立) 訪問

ニュルンベルグはドイツ連邦共和国バイエルン州のミッテルフランケン行政管区に属する郡独立市。ドイツ南部でオーストリアと隣接するミュンヘンの北一九〇kmにあり、自動車で約二時間、人口約五〇万人の都市。

このクラブには空手道場、柔道場、サッカーコート四面、九ピンボリング場、レストラン、バーベキュー場やクラブハウスがあり、会員四〇〇〇人。空手道場には道場の外に日本庭園があり、日本文化への関心の高さが感じられた。

ここではスポーツに関してディスカッションする機会があった。私たちの方からは、東京オリンピックを誘致する意義や、みんなのスポーツとして誰もが楽しめるスポーツ、そして人口減少・少子化・医療費の高騰や介護等の社会問題とスポーツに係る話題を提起した。ニュルンベルクのクラブ関係者とバーベキューやワインを楽しむながら両国のスポーツ事情等について有意義な話し合いとなった。



ドイツに視察訪問させていただき、本当にありがとうございました。「百聞は一見にしかず」という諺がありますが、二度目の訪問でそのことを実感しました。ドイツはやはり日本と比較すれば豊かな国だと思いました。生活様式は違いますが、スポーツクラブの大きさを見ただけでも、桁が違うように思えるのです。市街地では古城を市役所として活用したり、古い建物等を再利用してオフィスや店舗にしているところは日本では見られないことです。

さて、ドイツのスポーツクラブについて、私たち山形県にどのように活かしていけるかを考えてみました。スポーツに対する考え方を変えていく努力をしなければならぬと思います。これまで日本の場合、小学生はスポ少、中学生は部活、アスリートは企業スポーツを中心に発展してきましたが、これからは生涯にわたってスポーツに親しめる身近な地域のスポーツ環境を備えたスポーツクラブでの楽しみ方に変えていくことではないでしょうか。それには、個々のスポーツ少年団や(総合型)スポーツクラブがバラバラに運営している現状を変えて、地域総合型スポーツクラブの理念に基づいて、クラブ組織体を構築する事だと思えます。以上、報告および感想とします。



山形県スポーツ少年団 リーダー会紹介

スポーツ少年団は、小学校を卒業すると同時にやめるものだと思われがちですが、中学生以上でも団員として活動することができます。認知度が低い、部活動が忙しく団活動に参加する時間がないという理由などから、中学生以上の団員が少ないのが現状です。しかし、スポーツ少年団の活動は、専門競技の技術を伸ばすだけの目的ではなく、豊かで健全な生活を送るためのところからだの成長を促す場にもなります。

さらに、地域に基盤をおいたスポーツ少年団の活動は、多様な年齢層で構成され、自ら選択したスポーツを団員、リーダー、指導者、育成母集団が協力して年間を通して、また長期にわたって行う活動であるため、楽しみながら社会性を身につけることができます。中には、部活動にはないが、自分が取り組んできたスポーツを続けたい、将来スポーツ指導員やスポーツに関わる仕事をしたいというような理由で活動を続けている団員もいます。

そして、山形県には様々な目的を持った人たちが集う山形県スポーツ少年団リーダー会という組織があります。山形県スポーツ少年団リーダー会には、山形県内で団員登録をしてい



る高校生から二十一歳までの人なら誰でも参加することができます。リーダーという言葉聞き慣れない人も多いと思いますが、リーダーは指導者とは区別され、指導者と団員のパイプ役を担う存在になります。小学生の団員にとつてお兄さん、お姉さんのような存在であり、身近な目標となる先輩ともいえるでしょう。

リーダー会の主な活動内容としては、研修会や研究大会への参加、交流会やリーダースクールなどの運営補助などがあります。活動範囲は県内にとどまらず、北海道・東北ブロック、全国と広く、リーダー会が中心となる時は、プログラムの企画、会場や物品の準備運営のすべてを行うこともあります。全員が協力し、責任ある仕事をやりとげること、日常では感じることでできない満足感と充実感を得ることができ、夏に中学生を対象に開催されるジュニア・リーダースクールに参加するとジュニア・リーダーの認定を受け、さらに日本全国の高校生を対象に開催されるシニア・リーダースクールに参加するとシニア・リーダーの認定を受けることができます。このような認定を受けると、日独同時交流の派遣資格を取得することができ、派遣団員として世界で活躍することができ、引き続き指導者として登録する場合に

は、認定員の資格が付与されます。山形県スポーツ少年団リーダー会からも派遣団員としてドイツに行き、貴重な経験をしてきた先輩がたくさんいます。リーダー会はスポーツ少年団と同様、自主・自立的であるため、共に笑い、協力し合い、感動できる仲間達と、より楽しく、より活発に成長し続けることを目指して活動しています。

日本全国、そして世界にネットワークを広げることで、自分自身の視野は大きく広がります。学校生活や部活動だけでは決して味わうことができない社会経験ができるのがリーダー会活動の最大の魅力です。山形県リーダー会には、様々な経験を積んできた頼もしい先輩リーダーがたくさんいます。不安や心配をせず、視野を広げ自信を持って大きな一歩を踏み出すことで人生のスキルアップを目指して活動してみませんか。

県内にはジュニア・リーダー、シニア・リーダーの資格を持った人が少なく、さらに多くの単位団からリーダーを目指す中学生、高校生が増えてくれることを願っています。

手続きや疑問点などは、各単位団の指導者の先生、または山形県スポーツ少年団事務局までお問い合わせください。みなさんと活動できることを心から楽しみにしています。



市町村の動き

遊佐町スポーツ少年団本部事務局



遊佐町スポーツ少年団は、昭和四十二年、大内スポーツ少年団、遊佐剣道スポーツ少年団、服部卓球スポーツ少年団、高瀬スポーツ少年団の四単位団からなる「スポーツ少年部」として発足した。その後、昭和五十二年には「遊佐町スポーツ少年団本部」と改称、平成二十六年度現在、単位団十四団、団員二一〇名、指導者・役員七十四名が登録している。

各単位団では、情熱的な指導者のもと、競技への取り組みだけでなく、地域の清掃活動、団員間の交流活動などを行い、スポーツ・社会活動とおして青少年の心身の鍛錬を図るべく活動を展開している。

町本部としても、毎年、全単位団参加のスポーツをおとした交流会、最新のトレーニング方法や子ども達の心のケアのための発達心理学を学ぶスポーツ指導者研修会、町内小学校との情報交換会など、子ども達の交流、指導者・育成母集団の意識・技術の向上のための取り組みを行っている。

子ども達を取り巻く環境が変わりゆく中、子ども達の健全育成のため、スポーツ少年団が果たす役割は更に大きくなっていく。そのことを関係者が自覚し、学校・地域と密接に連携しながら、多様な活動に取り組みんでいきたい。

単位団紹介

上山柔道教室スポーツ少年団(上市市)

代表指導者 鈴木 隆重

「上山柔道教室スポーツ少年団」は、平成十六年十月に「上山少年少女柔道教室」として立ち上げたのが始まりであり、平成二十三年四月にスポーツ少年団に正式登録し現在に至ります。

練習は、上山少年少女柔道教室時代より水曜日の午後四時から土曜日の午前九時半からの週二回とし、子どもたちの生活リズムを崩さないように配慮しています。

当団では、次の三つを指導の柱としています。一つ目は柔道の楽しさを味わってもらふこと。二つ目は元気よく練習ができること。三つ目は礼儀正しく勝ったり負けたりする中で自分なりの楽しさを見つけて欲しい。元気よく声を出し励まし合えば、苦しいことがあっても乗り越えられるということを中心と体で感じて欲しい。そして、日本古来の「道」としての礼儀を身に付けて欲しいと願っています。それにより人を尊重する態度の醸成に結びつくと考え指導に当たっています。

近年、卒団者が各カテゴリーで活躍してくれています。特に中学生は、昨年度県新人大会で優勝を果たしました。東北大会にも出場し好成績を残してくれました。

今後、上市市柔道界の発展の一助となるよう努力していきたいと思



金山スポーツ少年団(金山町)

指導者 高橋 章

金山スポーツ少年団は、一九七九年(昭和五十四年)に設立し、今年で三十六年目を迎える歴史ある団です。複合型として野球・女子バレーボール・男子ミニバスケットボール・サッカー・クロスカントリースキーの五つの部が新庄・最上地区内外で幅広く活動・交流を行っています。諸先輩方の団運営や地域貢献が評価され、平成二十三年には文部科学大臣表彰を受賞することができました。

五月に新入団員と団紹介を行う町結団式を皮切りに本格的に活動に入ります。主に金山小学校を拠点施設として週二・三回の活動、土・日に大会出場や各種イベント・ボランティア活動の参加にも力を入れています。

現場で活躍する認定育成員が三名いるのも特徴で、認定員指導者に情報提供や指導面のアドバイスを行うほか、地区講習会講師として活躍しています。指導者は、団員との対話、適度な休息、保護者間コミュニケーションを大切にすることで、団員やその保護者・学校とも良好な関係を築いています。

また各部は、地域やOBの協力のもと、自主運営の大会も開催しており、強化面に限らず交流を通じて、青少年の健全育成や指導力の向上を図っています。さらには、金山スポーツ少年団内の部の大会応援に行ったり、合同練習や勉強会を実施したりするなどの取り組みも続いています。今後とも金山スポーツをよろしく願います。



中川スポーツ少年団(南陽市)

代表指導者 富樫 憲治

中川スポーツ少年団には陸上コースと野球コースがあり、小学校二年生から六年生までの合計二十七名の団員で日々練習に励んでおります。

陸上コースには男女合わせて九名、野球コースには男女合わせて十八名の団員がおり、各コースに二名ずつ指導者があります。年間の活動としては花公園清掃奉仕作業への参加、中川地区で開催される夏まつりのボランティア活動への参加、南陽さわやかマラソン大会への参加など地域の活性化に少しでも協力できるよう活動いたしております。また、中川地区で開催される子供会行事にも積極的に参加し地区の活性化にも貢献いたしております。

指導者会と保護者会では年数回の意見交換の場を設け、タイムリーな情報を交換し合い交流を深めております。

中川スポーツ少年団の指導方針は「スポーツを通し緊張と感動を楽しもう」で、スポーツ教室からの流れで団登録二十九年目を迎えます。あの頃の団員が父母、指導者となり、楽しく明るく元気に活動しており、競技スポーツだけでなく思い出に残る団活動になるよう心掛けております。

わたしたち指導者が明るく元気に指導すること、子供達がスポーツを楽しむように指導をしたいと思います。



押切剣道スポーツ少年団(三川町)

代表指導者 皆川 裕一

押切剣道スポーツ少年団は昭和四十八年に地域、保護者の皆様の理解で地区の子ども達に剣道の素晴らしさを教える為に発足しました。

私が代表指導者になって二十五年になります。

初めは技術的な事を指導していましたが、最初は技術的な事を指導していましたが、剣道の特性は、ゲーム性(勝敗)だけではなく、全日本剣道連盟の理念である「剣道とは人間形成の道である」という事を知りました。剣道の理念を指導しなければという思いから、指導者の講習会に参加したり、高段者の講習を受けたりました。どう指導したらよいか試行錯誤の日々でした。「我以外皆師」団員に指導しながら団員から指導を受けているようでした。今でも悩み続けています。

「剣道は一人ではできない」だから「相手に感謝心とおもいやり」を常に持とうと指導しています。それが人間本来の心得ではないか、今理解してもらえなくてもきつと将来に思い出してもらえらるだろうと話し続けています。

今、かつて指導していた子どもが大人数になり指導者として活躍しています。指導している姿を微笑ましく感じます。団体戦を組めず合同チームになることもありますが「交剣知愛」の心で続けたいと思います。



団員の夢

「将来の夢」



中山ジュニア野球
スポーツ少年団
伊藤 文二郎

ぼくは、二年生から野球を始めました。ぼくのお父さんも野球をしています。お父さんがユニフォームを着て野球に行く姿がかっこいいなと思います。ぼくも野球がしたいと思いました。

低学年の時は、Tボールをしました。止まっているボールを打って走ります。十人でできるのでとても楽しいです。四年生からは、野球の試合にでました。最初は、全然打てませんでした。けれど監督、コーチからバットの振り方を教えていただきました。そして五年生になったらたくさんヒットが打てるようになりました。

監督から「上手になったな」と言われたので、もっと野球が上手になりたいと思います。監督、コーチから教わった事をしっかりと復習し上手になりたいです。

今年が六年生で小学校最後の大会でした。優勝目指してみんなでがんばりましたが優勝はできませんでした。だけど、仲間やチームワークの大切さをあらためて感じる事ができました。

多くの将来の夢は、プロ野球選手になることです。夢をかなえるために野球を続け、素振りなどをもっともっと練習して夢を実現するためにがんばります。

「だれでも楽しめるスポ少」



戸沢T&F
スポーツ少年団
市川 愛美

私は、小学二年生の冬からサッカーのクラブに入りました。入ってすぐにシュートを決められたので、うれしくて四年間続けてきました。サッカーは走ったり、けったりするスポーツなので、足がきたえられて走るのが得意になりました。そんな時、お姉ちゃんやっていた陸上教室に行つて一緒に練習してみました。速く走るコツを聞いてもっと速く走れるようになってとてもうれしかったです。他のスポ少に入りながら練習している人がいたので、私もサッカーをしながら陸上もやるようになりました。

今年新しく陸上スポ少の戸沢T&Fができました。サッカーやバレー、野球のスポ少に入りながら陸上の練習をしている人もいました。陸上の練習だけでなく、コアトレーニングや鬼ごっこ、ボール遊びなど、体全体を使つた練習もしています。

ひめさゆりマラソン大会に出場したり他のスポ少と交流したりしています。クリスマス会やお楽しみ会などとして、一年生から六年生までとても楽しく活動しています。

走ることが速い人もそうでない人も楽しく活動ができるので、たくさんの人にこの楽しさを知ってもらいたいと思います。

「ぼくとソフトボール」



フェニックスJr
スポーツ少年団(白鷹町)
安部 優

幼稚園の頃から始めたソフトボール。父が女子チームの監督だったこともあり、休みの日には一日中ボールを追いかけていたような気がします。はじめは、投げるのも捕るのも打つのもなかなか上手にはできませんでしたが、でもがんばりを続けていくうちに少しずつできるようなり自信もついてきました。

僕の住む長井市には男子チームがないので、五年生になってからは、となり町のフェニックスJrというチームでプレーすることにしました。初めて出会う人ばかりで心配でしたがすぐにみんなとは気が合つて、よいチームワークで練習や試合に向かうことができました。六年生の時には、キャプテンでピッチャーを任せられ、青森県で開催された東北大会に山形県代表として出場することができました。試合には負けてしまいましたが、僕が強く感じたことは、続けることの大事さと友情の大切さです。父と一緒にソフトボールを続けてきたことよって技術も向上し、精神力も高まりました。そして、ソフトボールを通じて学校の違う白鷹町の仲間と心が通い、絆も深まりました。中学に進むと、また新たなスタートです。今までに学んだことを生かし、夢をもち、一球一球を大切にプレーしていきたいと思っています。

「夢は必ずつかめる」



若浜バレーボール
スポーツ少年団(酒田市)
加賀谷 美海

私がバレーボールを始めたきっかけは、お母さんと見学に行った時でした。おもしろそうだと思つて、すぐに入団しました。しかし、実際にバレーボールをやってみると、おもしろいだけではできないことを実感するようになりました。

五年生以下大会から、キャプテンとしてチームを引っ張る立場になりました。そのため、悩むことも多くなりました。その時、試合で骨折をして練習もできない私をチームの仲間たちが励ましてくれたり、一生懸命支えてくれたりしました。

そんな大事な仲間たちと一つになって掲げた目標は、「フアミリーマートカップ全国大会に出場すること」でした。三カ月という短い期間で、チームを作ることは不安でしたが、みんなが必死に練習しました。その結果、全国大会出場を果たすことができました。自分たちの力で東京体育館を入場行進できた事は本当にうれしく最高の思い出になりました。チームが一つになつて、夢に向かって頑張れば、必ず夢はつかめる事を知りました。

これから、自分の弱い所を強くするため、仲間の大切さを忘れずに、もっと努力していきます。そして、もう一度トップを目指してがんばります。

●全国スポーツ少年大会

「最高の四日間」

曙三バスケットボール少年団(鶴岡市)

佐藤 佳乃

私は初めて全国スポーツ少年大会に参加しました。班の人たちに出会った時、すごく緊張したけれど、積極的に話すことができたので、仲良くなることができました。

二日目のSHIPS活動は、班員全員が協力して優勝することができました。みんな「こうだよ」とか「もうちょい」などたくさん声をかけ合い、全員が一つになってやることができました。

三日目のスポーツ活動は、自然の家の中でレクリエーションをして、とても楽しい時間でした。その後、楽しみにしていたキャンプファイヤーでした。火のまわりを囲んでジンギスカンをおどったり、楽しいゲームをしたりしました。

四班の班長はすごくしつかりしていて、班をまとめてくれました。リーダーが言わなくても手伝ったり、人数を数えたり、とってもいい班長でした。班長を見習わなきゃなあと思いました。

この四日間は、はじめてのことがたくさんあったけれどみんなと一緒に楽しかったから、楽しい時間になることができます。



●東北ブロックスポーツ少年大会

「東北ブロックスポーツ少年大会に参加して」

青葉剣道スポーツ少年団(川西町)

金子 優奈

私は今回初めて東北ブロックスポーツ少年大会に参加しました。

東北という大きな括りの中で、青葉から、町から、置賜地区から私一人の参加で、すごく心細く一人で震えていました。

さらに、聞いていたよりも人数が多く、逃げ出したいくらいでしたが、この大会に参加したことで私は確実に変わりました。班の役割を決めるときもいろいろと葛藤がありましたが、班の中で一番年上ということもあり、自分から班長になることができました。その後も班員達に助けられながらも、楽しみながら活動することができました。

私は、この人見知りのような性格が少しでも変えることができ、自信ができました。それはリーダー会、指導者の先生方、そして班員みんなが親切に接してくれたからだと思います。この大会に参加してとても良かったと思うとともに、すごく良い大会だと感じました。



●日独スポーツ少年団同時交流

「貴重な体験」

稲穂サッカースポーツ少年団(鶴岡市)

佐藤 順樹

ドイツでの生活は、毎日が充実して、とても新鮮でした。その中でもホストファミリーと過ごした時間はかけがえのない思い出です。最初は不安でいっぱいだったホームステイ。しかし、ホストファミリーと共に生活していく中でその不安は少しずつ無くなっていきまし

た。単語があまりわからない僕にゆっくりわかるように話しかけてくれたり、翻訳アプリを使って日本語に訳してくれたら、「おなかすいてないか」や「のど渇いていないか」など気を使ってくれたりしてドイツ人の心の温かさを感じる事ができました。プログラムでは城や教会などを見学してドイツの歴史にふれたり、ダイビングをしたり、ドイツカッシーンをしたりとても内容の濃いプログラムでした。

今回、四十一回目を迎えた歴史のある交流に参加することができ本当に良かったです。出会ったすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。



平成二十七年
登録からは
有資格指導者が
二名以上必要です！

■子どもの安全で楽しいスポーツ活動のために

■正しい知識を持った指導者が指導にあたるために

■指導者による行き過ぎた指導や誤った指導にならないために

子どもたちにより安全で効果的な指導を行うためには、スポーツ少年団の理念を理解した有資格指導者を複数配置、または全ての指導者が有資格者となることが望まれます。

そのため、日本スポーツ少年団では、平成二十七年から各単位団に有資格者(認定員・認定育成員)の複数名配置を義務付けます。義務化に伴い平成二十七年登録からは、市町村への登録申請時に有資格指導者が二名以上必要となります。

(二名以上配置できない単位団は登録できません。)

なお、新規登録単位団は、初回登録申請年度中に登録指導者のうち二名以上が資格を取得することが義務付けられます。

県の動き

表彰

○文部科学大臣表彰
 (生涯スポーツ優良団体) 朝日スポーツ少年団(鶴岡市)
 ○日本スポーツ少年団顕彰
 (市区町村表彰) 中山町スポーツ少年団(表彰指導者) 細矢清隆(村山市)、五十嵐忠一(鮭川村)、小池弘子(鶴岡市)、西田克(酒田市)
 ○山形県スポーツ少年団表彰受賞者
 (優良団) にしね少年野球スポーツ少年団(寒河江市)、泉田サッカースポーツ少年団(新庄市)、米沢体操クラブジュニアスポーツ少年団(米沢市)、長井北ニバスケットボールスポーツ少年団(長井市)、遷喬ミニバスケットボールスポーツ少年団(鶴岡市)、鶴岡ソフトテニススポーツ少年団(鶴岡市)、立川体操スポーツ少年団(庄内町)、余目一小あさあげスポーツ少年団(庄内町)
 (功労者) 佐藤俊晴(中山町)、柴崎美枝(寒河江市)、工藤一男(村山市)、永登一明(尾花沢市)、菅原秀(新庄市)、岡崎博子(米沢市)、舟山正(小国町)、石川武利(庄内町)、小松進(酒田市)、池田清(酒田市)
 各級スポーツ少年団資格取得者
 ○認定員養成講習会兼スポーツリリーダー養成講習会 七コース開催
 (参加者) 六八〇名(内二六四名認定)
 ○認定員(日本体育協会公認指導者資格保有者) 十六名認定
 各種事業
 ○県スポーツ少年大会兼ジュニア・リリーダースクール
 八月八〜十日 山形県海浜自然の家(遊佐町)
 (参加者) 少年大会五十七名、ジュニア・リリーダースクール三十二名、指導者三十五名、リリーダー六名
 ○県指導者・育成母集団研修会
 十一月十五日 いこいの村庄内(鶴岡市) (参加者) 一七八名

○日独同時交流受入
 七月二十九日(八月二日 西村山地区「ドイツ団」指導者一名、団員五名(ホストファミリー) 松田伝一郎(寒河江市)、渡辺諭(河北町)、松田憲州(西川町)、伊藤淳、小野康仁(朝日町)、伊藤紀子(大江町)
 ○日独同時交流派遣
 八月一日〜十八日間
 (指導者) 野口みゆき(鶴岡市)、(団員) 野口大輔、佐藤順樹(鶴岡市)、大場智貴(米沢市)
 ○シニア・リリーダースクール
 八月七〜十一日 静岡県
 (団員) 斎藤直希、菅野朝日、若公良太、佐藤優(鶴岡市)
 ○全国リリーダー連絡会
 九月二十七〜二十八日 東京都
 (指導者) 上野和義(鶴岡市)、(リリーダー) 大場智貴(米沢市)、佐竹恵(中山町)、井上鞠加、齋藤拓末、佐藤順樹(鶴岡市)
 ○全国スポーツ少年大会
 八月二〜五日 大阪府
 (指導者) 佐藤久樹(鶴岡市)、(団員) 吉住咲哉、渡邊彩子、佐藤佳乃、中村柚介、栗田奈緒、五十嵐柚衣、伊藤晃任、池田正義(鶴岡市)
 ○東北ブロックスポーツ少年大会
 八月七〜十日 福島県
 (指導者) 森和也(川西町)、(団員) 阿部晴澄、菊地真太郎(寒河江市)、金子優奈(川西町)、佐々木理(鶴岡市)
 ○全国スポーツ少年団競技別交流大会「サッカー」(第三十八回) 八月三日〜八月九日 静岡県 ふじかけサッカークラブ(山形市)、「軟式野球」(第三十六回) 八月八〜十一日 北海道 東部ジュニアベースボールクラブ(酒田市)、「剣道」(第三十七回) 三月二十七〜二十九日 埼玉県 東根中部剣道、大富剣道教室(東根市)、「バレーボール」(第十二回) 三月二十七〜三十日 福島県 高松ア

●編集後記●
 新年度からのスポーツ少年団登録には、複数の有資格者(認定員・認定育成員)が必要となります。すべての指導者が有資格者となり、スポーツ少年団の理念とその意義・組織と運営等を認識して指導していただければ、指導者の体罰や団員のマナーなどについての苦情・相談が無くなるのではないかと思います。
 このたびの機関紙発行にあたり、山形県スポーツ少年団五十周年記念事業の「ドイツスポーツクラブ等視察研修」に参加されました井上副部長を始め、お忙しい中多くの方に寄稿していただきました事に感謝申し上げます。

編集委員
 委員長 須見 憲明
 副委員長 佐藤江寿樹
 委員 森 俊晴、高橋 章、三上 重幸
 佐藤 和也、佐藤 利浩、佐藤 康次
 廣川 由香、柿崎 邦洋、石塚 俊次

タッカーズ(寒河江市)、宮野浦バレーボール(酒田市)
 ○東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会
 【軟式野球】 七月五日 酒田市光ヶ丘野球場 南山形Y・Tリトル(山形市)、東部ジュニアベースボールクラブ(酒田市)、「サッカー」 七月二十六日〜二十八日 宮城県 OSAフットボール山形フットボールクラブ、山形FCジュニア(山形市)、鶴岡JrFC(鶴岡市) 【柔道】 十一月二十三〜二十四日 県体育館 高橋道場、鈴川柔道(山形市)、袖崎柔道、楯岡中学校柔道部(村山市)、大石田柔道(大石田町)、新庄地区柔剣道錬成会(新庄市)、最上柔道(最上町)、沖郷柔道(南陽市)、朝陽武道館柔道(鶴岡市)、立川柔道(庄内町) 三川柔道(三川町)、「ミニバスケットボール」 三月十四日〜三月十五日 宮城県 わかたけミニバスケットボール(山形市)、天童中部ミニバスケットボール(天童市)、川西バスケットボール(川西町)、致道男子ミニバスケットボール、遷喬ミニバスケットボール、大山ミニバスケットボール(鶴岡市)

スポーツ安全保険 5名以上の団体・グループでご加入ください。

傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

対象となる事故 団体活動中の事故/往復中の事故

保険期間 平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで(申込受付は平成27年3月から)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金(1人あたり)	死亡	後遺障害	入院	通院	賠償責任保険 支払限度額 (各事故別)	突然死葬祭費用保険 支払限度額
子ども	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	1,500円	対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円	突然死 葬祭費用 180万円
中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	上記団体活動に加え、個人活動も対象 ※区分A1・A2・A3・A4は個人活動も対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000万円	2,000円	対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円	突然死 葬祭費用 180万円
高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け スポーツ活動 子どもへのスポーツ活動の指導・審判	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	1,500円	対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円	突然死 葬祭費用 180万円
65歳以上	子どもへのスポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	1,500円	対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円	突然死 葬祭費用 180万円
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	AB	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500万円	1,000円	対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円	突然死 葬祭費用 180万円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	1,000円	600万円	900万円	1,800万円	1,000円	対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円	突然死 葬祭費用 180万円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800万円	1,000円	対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円 対人・対物賠償 各1事故50万円	突然死 葬祭費用 180万円

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入れ替え、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

公益財団法人 スポーツ安全協会
 山形県支部 (公財)山形県体育協会内
 〒990-2412 山形市松山 2-11-30 TEL023-642-8321
<http://www.sportsanzen.org>
 ●資料請求は、インターネットより受付しております。 電話受付時間(午前9時~午後5時(土、日、祝日を除く))

スポーツ安全協会 検索
 インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

まかせて安心

携帯電話から資料請求ができます。

平成26年12月作成 14-T-09668